

高知市



社協だより



～共同募金から協働募金へ～

赤い羽根共同募金

今年も赤い羽根共同募金運動が始まりました。

共同募金は今年で70周年の節目を迎え、参加と協働による「新たな助け合いの創造」をテーマに共同募金における運動性の再生に取り組んでいきます。



平成28年度 高知市の目標額

37,882,000 円（一般募金）

11,943,000 円（歳末募金）



- ②③ 赤い羽根共同募金 ④⑤ 「介護予防・日常生活支援総合事業」って？ ⑥ 収穫！きずな農園in長浜・山に響く笑い声
⑦ 心の窓に「ほおっちょけんのススメ」～高校生ふくし体験学習～ ⑧ 名士チャリティ色紙展示即売会・ご寄付のお礼

赤い羽根共同募金

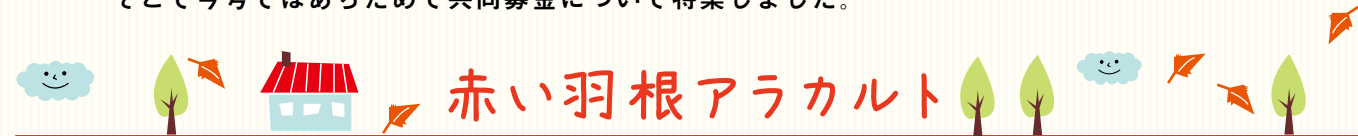
— みんなで地域の困りごとについて考えよう —

平成28年度は『赤い羽根共同募金運動』創設“70周年”という節目の年です。長い間、私たちの身近にあった赤い羽根共同募金ですが、意外と詳しく知られていないのではないのでしょうか。そこで今号ではあらためて共同募金について特集しました。

今年も赤い羽根
共同募金運動が
始まりました。



おかげさまで70周年



● 共同募金とは？

共同募金は、民間で行われる社会福祉事業への助成や、地域福祉の活動資金を確保するために行われる募金活動です。市民自らの行動を応援する『じぶんの町を良くするしくみ』なのです。

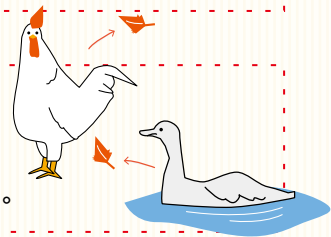
日本の共同募金運動は昭和22年の戦後直後に復興の一助として始まり、時代の要請に合わせて現在のような多様な地域福祉を支える募金活動へと柔軟にその役割を拡大・変化させてきました。



● なぜ、赤い羽根？ … 共同募金のシンボルは「赤い羽根」

共同募金が始まった頃、アメリカでは水鳥の羽根を赤く染めて使っており、それにヒントを得て、第2回目から日本では不要になった鶏の羽根を使うようになりました。

その昔、騎士道華やかなヨーロッパでも赤い羽根は勇気や善行のしるしとして使われていました。

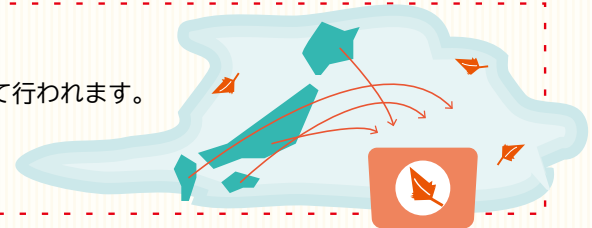


● 募金の期間は？

従来の募金は10月1日から12月31日までの3か月間です。

10月から12月までは一般募金を、12月中は歳末助け合い募金も合わせて行われます。

平成28年度からは、全国統一の期間設定として翌年1月から3月まで新たな募金手法による取り組みとしてテーマ型募金等が実施されます。



● 集まった募金の使われ方は？

❶ 社会福祉施設や県内で活動している団体に助成しています。

❷ 住んでいる地域の福祉活動団体に助成しています。

❸ 災害時準備金として積み立てています。



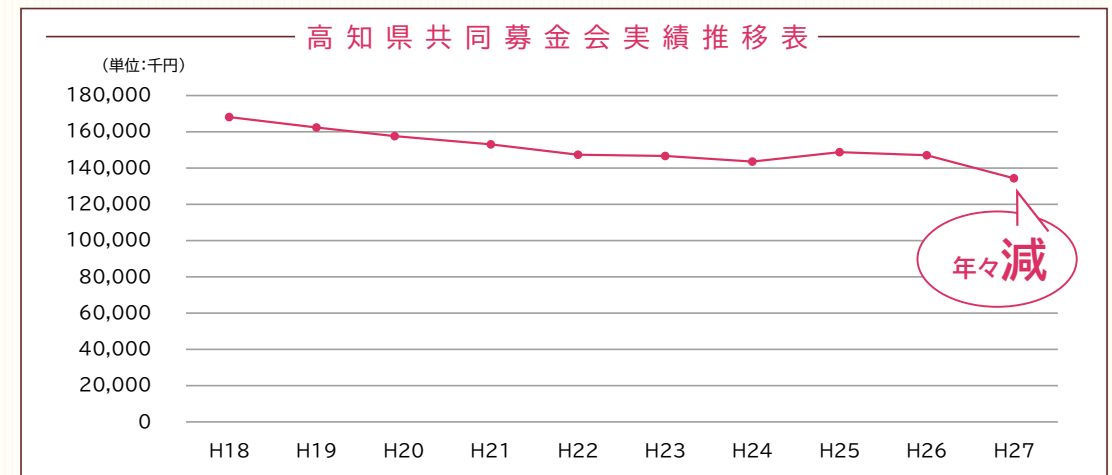
例えば… ○○地区

● 善意の募金なのになぜ目標額があるの？

共同募金は、寄付金が集まってから使い道を決める募金とは異なり、事前に使い道や募金額を定めたうえで行います。「各地域で行われる福祉活動の中で優先して必要な助成額」をもとに、あらかじめ計画を立てることが義務付けられており、この計画に必要な額が目標額になります。

● 募金はたくさん集まっているの？

共同募金は平成6年度をピークに、毎年2～3%の減少が続いています。これには、経済情勢や少子高齢化による人口の減少、個人の価値観の変化などが影響していると考えられています。



● 共同募金のこれからの取り組みは？

共同募金は今年70周年の節目を迎え、参加と協働による「新たな助け合いの創造」をテーマに共同募金における運動性の再生に取り組んでいきます。

今後、高知県共同募金会高知市支会の取り組みとして、3つのポイントを考えています。

新しい共同募金の研究

地域の課題解決に取り組む「テーマ型募金」について関係団体への情報提供や寄付つき商品など、新たな募金手法に取り組めます。

新しい依頼先の開拓

企業など、既存の寄付依頼先や募金箱設置先の状況把握と新しい依頼先の開拓を行うことや、企業にとって目指す社会貢献を実現するしくみとして機能する共同募金を目指します。

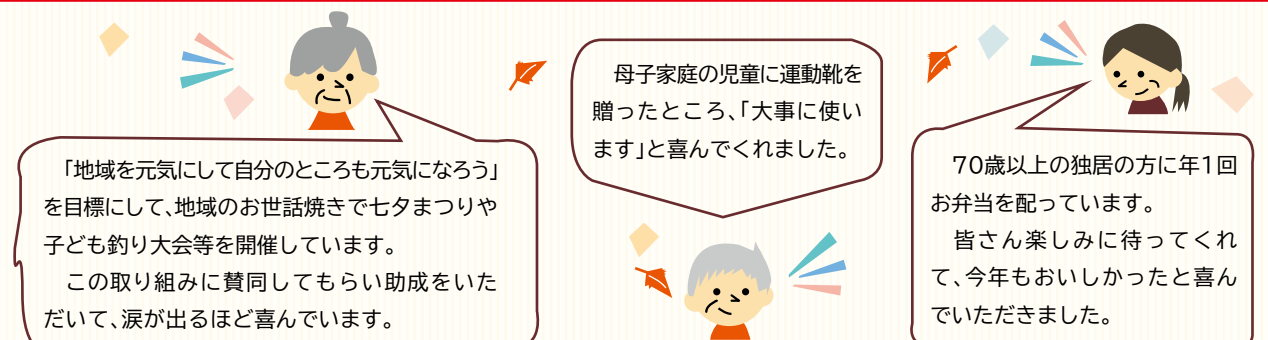
福祉教育の充実

福祉活動に関する関心や理解を高める「福祉教育」の取り組みとして今年度は、赤い羽根共同募金を次世代につなぐことを目的とし、「学び」→「募金活動」→「振り返り」の3要素で構成する赤い羽根授業を企画、実施していきます。



街頭募金前の赤い羽根授業の様子

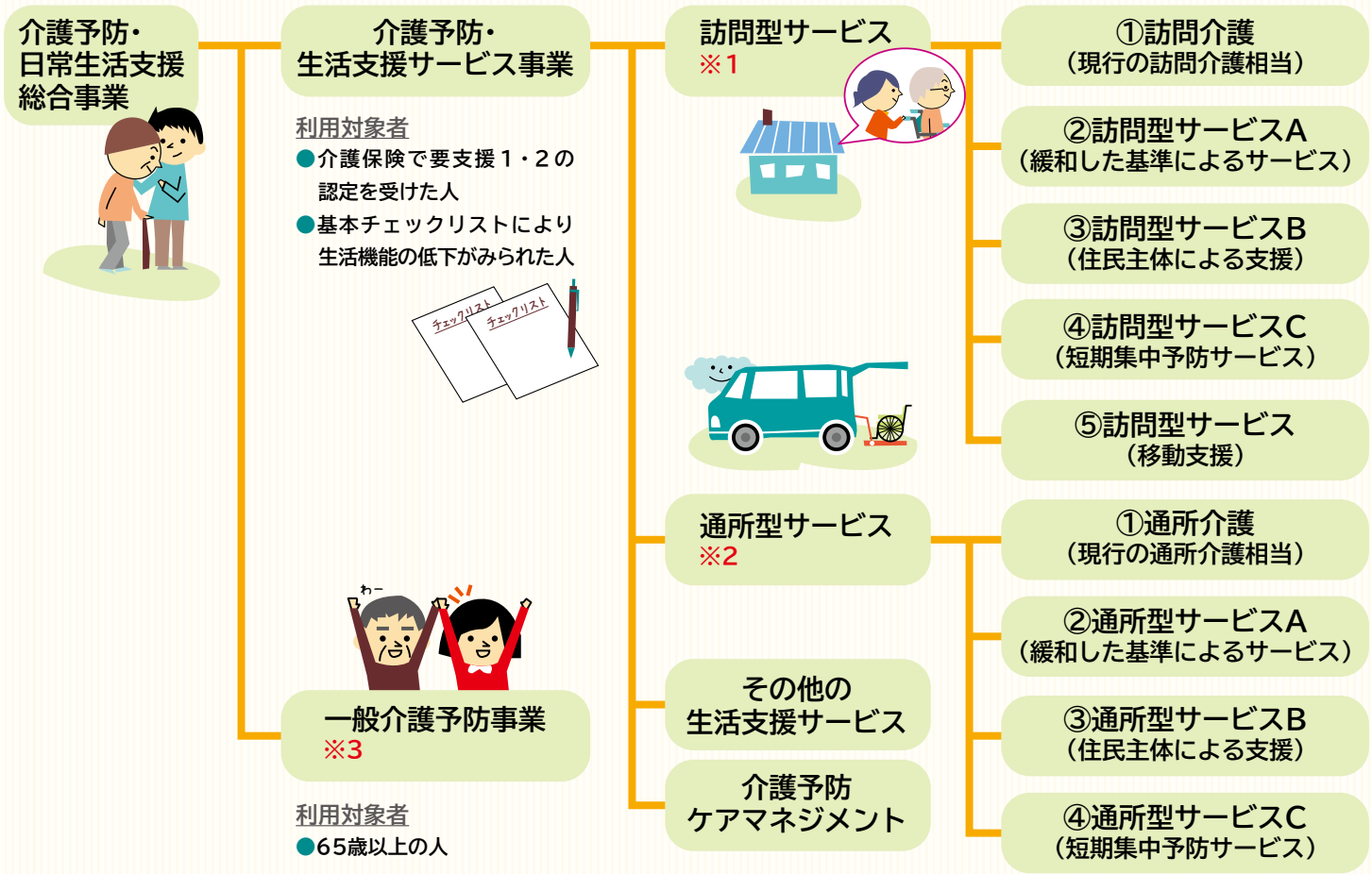
助成を受けた団体からのありがとうメッセージ



「介護予防・日常生活支援総合事業」って？

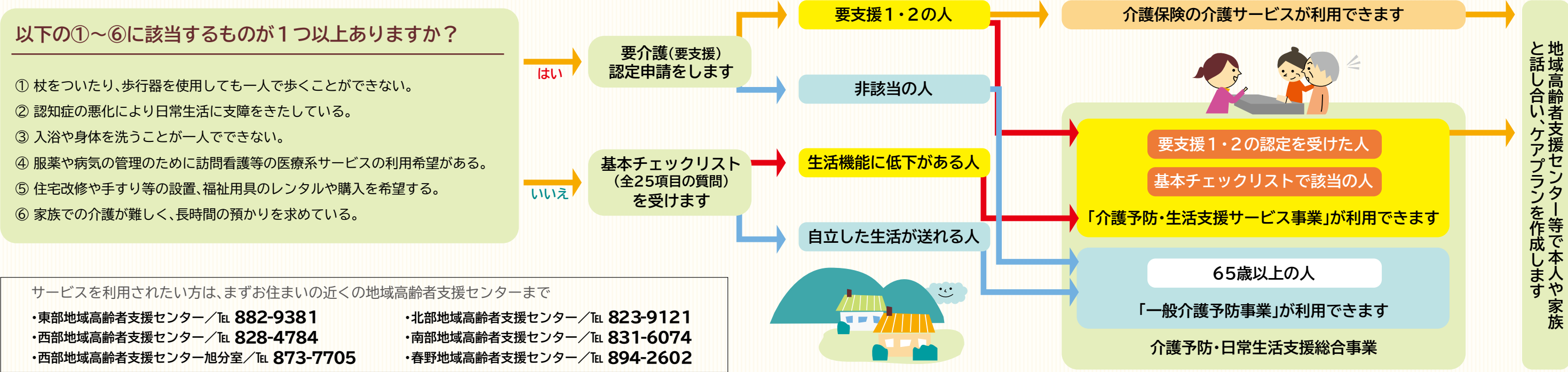
介護保険法の改正により、市町村が行う介護予防・日常生活支援総合事業が始まり、要支援1・2の人が利用する予防給付サービスのうち、「介護予防訪問介護」と「介護予防通所介護」が「総合事業」による「訪問型サービス」と「通所型サービス」に移行しました。高知市では平成28年10月から実施されます。
高知市社会福祉協議会では、要介護者より軽度の要支援1・2の方が利用している、介護予防サービスの一部「訪問介護」と「通所介護」を、予防給付から切り離し、下図の訪問型サービス①訪問介護と通所型サービス①通所介護に移行します。

サービスの内容



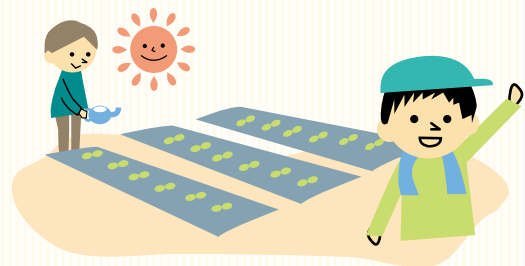
- ※1**
- ①従来どおりのサービス**
入浴介助などの身体介護が必要な人や、同居家族等の支援が受けられない人には、ホームヘルパー等が訪問し、自分で行うことが難しい生活上の支援を行います。
- ②～⑤新しいサービス**
一定の研修を受けた従事者が、掃除や買物、調理・洗濯などの日常生活上の支援を行います。ただし、直接体にふれることがあるサービスは該当しません。
- ※2**
- ①従来どおりのサービス**
通所介護施設で日常生活機能向上・維持のための訓練と食事、入浴などのサービスを提供します。また、生活目標に合わせた支援を行います。
- ②～④新しいサービス**
NPO、民間事業所等によるミニデイサービスの利用やコミュニティサロン、住民主体の運動・交流の場への参加、また、リハビリ、栄養、口腔ケア等の専門職等関与する教室への参加支援を行います。
- ※3**
- 介護予防のための取組**
いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、しゃきしゃき百歳体操を市内340カ所（平成28年5月末現在）の体操会場で住民の皆さんが開催しています。
- 介護予防のためのボランティア活動**
65歳以上で要介護・要支援の認定を受けていない人がボランティア登録し、介護保険施設等でボランティア活動を行った場合にポイントが貯まり、ポイントに応じて、商品券などに還元することができます。

利用までの流れ



収穫！きずな農園in長浜

指定就労継続支援B型事業所「きずな」より



5月に苗植えをしました、ピーマン・ナス・オクラの収穫が最盛期を迎えました。

猛暑の中、きずなの利用者が愛情を込めて作った有機栽培の野菜は、保護者の皆様からもおいしいと大好評！来年はもっとたくさんの人に食べていただきたいです。

これからも張り切っておいしい野菜を作ります。



収穫作業って楽しい！！



初夏から秋にかけて旬の長ナスと千両ナス



栄養価が高いオクラ

山に響く笑い声

土佐山健康
福祉センターより

高知市北部、工石山の麓に位置する土佐山健康福祉センター。緑に囲まれた静かな環境で、ゆったりと時が流れる…そんなセンターの中にある土佐山デイサービスセンターや生きがいデイサービスを利用する高齢者の皆さんの楽しみの一つに、ボランティアとの交流があります。

これまで、フラダンス、日本舞踊、民謡、楽器の演奏、手品等々…多くのボランティアが訪れ、センターの利用者を楽しませてくれました。土佐山まで快く来てくださるボランティアの皆さんには本当に

感謝しています。

ボランティア以外で利用者の皆さんが待ちわびているのは、とさやま保育園や土佐山

学舎の小中学生との交流。このようなふれあいによって地域子ども達が高齢者を理解し、優しい心の成長につながるとうれしいですね。

たくさんのボランティアや地域子ども達との交流に支えられている当センター。この記事を書いている今も、ボランティアによる笑いヨガの真っ最中。「わっはっはー！！」と楽しそうな笑い声がセンター内に響いています。



心の窓に

Vol.1 久しぶりの高知で

石塚 直人

新聞記者
美作大学非常勤講師

18年の大阪本社勤務を経て、4月から高知支局の記者となった。高知勤務は3回目で、新人だった79年から9年、さらに94年から4年を過ごした。今は定年を過ぎた嘱託の身ながら、見るもの聞くものすべてが懐かしい。

こちらに来てまず驚いたのは、高齢者や障害のある人が多いことだ。路面電車に乗れば足腰がふらつくお年寄りに、通勤のJR列車では毎朝、ずっと何かを歌い続けている知的障害の青年に出会う。

大阪の通勤電車では、スーツで身を固めた青壮年男女しか見なかった。でも、この国に生きているのは企業戦士だけではないし、今は頑健な彼らも年を取れば衰える。すでに日本人の26%強が65歳以上で、20年後には約34%に達するという。

弱者が暮らしやすい社会を作るには、「老い」や「死」を身近にとらえ、考えることが欠かせない。よほど注意しないと弱者が目に入ってこない大都市のサラリーマンや霞が関の官僚たちは、その絶好の機会を奪われた不幸な人だと言える。

驚いたことの2つ目に高知市社協の変化を挙げると、読者の皆さんはどう思われるだろうか。きずな農園や生活困窮者支援の取り組みを取材して、職員のはつらつぶりに目を見張った。20年前に訪れた時は、まるで沈滞しきった印象だったのだが。

「心の窓に」

1959年に双子の女性デュオ、ザ・ピーナッツが歌った「心の窓にともし灯を」から取りました。小さくても温かな、励ましのシンボルです。今号から石塚さんのエッセーを掲載します。

今年も 開催しました！ 「ほおっちょけんのススメ」 ～高校生ふくし体験学習～



「ほおっちょけんのススメ」とは、高校生が夏休み中に、身近な社会福祉施設の現場でボランティア活動を体験し、社会福祉について理解を深めることなどを目的に毎年実施しています。

今年は、看護師やリハビリ職など専門的な進路を志している高校生のほかにも、施設に対して、ちょっと興味がある高校生も参加してくれました。

初めはコミュニケーションの取り方に戸惑っている様子



でしたが、施設利用者に助けて

もらい、会話だけではなくコミュニケーションを取ることや相手の気持ちに気付くことの大切さを学んでいたようです。

この体験を通して、「もっと周りを注意深く見るのが大切。何気ない段差でも困っている人はいる。」と日常生活の中でも”ほおっちょけん”の思いを持つ大切さも感じたようでした。



平成28年度 名士チャリティ色紙展示即売会

「名士チャリティ色紙展示即売会」は、各分野でご活躍されている名士の皆様にご染筆いただいた色紙を展示・即売し、収益金を障害のある方が働く事業所等の活動に助成。在宅心身障害者の生きがいを高め、その自立を図ることを目的として毎年開催しています。ぜひ多くの皆様のご来場をお待ちしています。

- 日 時 平成28年11月10日(木) 13:00～17:00
11月11日(金)・12日(土) 9:00～17:00
- 会 場 高知市文化プラザかるぽーと7階 (高知市九反田2-1)

色紙1枚5千円から(一部入札あり)。
また、お気軽にご購入いただける安価な
ポストカードサイズの販売コーナーもございます。



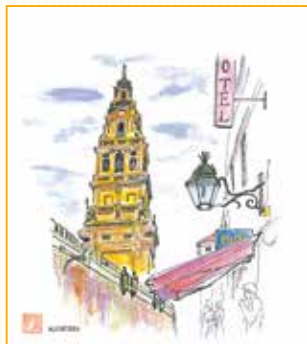
島川 芳州 氏 (書家)



藤原 祐寛 氏 (日本画家)



青山 剛昌 氏 (漫画家)



木村 吉太郎 氏 (洋画家)

.....今年度出品名士(敬称略).....

北村文和(染色家) 谷川浩司(棋士) 羽生善治(棋士)
青山剛昌(漫画家) 宗内彰志(洋画家) よでん圭子(洋画家)
広田和典(洋画家) 西原理恵子(漫画家) 島川芳洲(書家)
川島真佐(洋画家) 桂歌丸(落語家) 大野祥雲(書家)
蓬周蒼(日本画家) 木村吉太郎(洋画家)

その他多くの名士の皆様にご協力いただいています。

収益金は障害のある方が働く事業所で活用されています

・障害者事業所でパン・お菓子の製造に使用するための機器の購入



・公園等の清掃作業に使用する機械 等

たくさんのおもいやりありがとうございます

♥ ご寄付のお礼

社会福祉事業への寄付金

高知市民児連親睦福祉
チャリティコンペ 藤崎 忠男 様

物品の寄付

故 青木 靖典 様

また、各地区の民生委員児童委員協議会の皆様に、たくさんの物品を預託していただきました。誠にありがとうございます。

社会福祉活動は、皆様の善意に支えられています。
内祝・香典返しなど、ご寄付は高知市社会福祉協議会へお願いします。

社協会員募集！

社協が取り組む様々な事業は、皆様からの会費によって支えられています。社協活動にご賛同いただける方には、賛助会員としてより一層応援していただけますよう心からお願いします。

賛助会員(福祉施設、団体、個人等でご入会いただける方)

会費一口あたり 年額500円

特別賛助会員(会社、事業所等でご賛同いただける方)

会費一口あたり 年額1,000円

社協に関して、聞いてみたいことやご意見などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

編集・発行 社会福祉法人高知市社会福祉協議会

〒780-0065 高知市塩田町18番10号 高知市保健福祉センター1F
TEL 088-823-9515 / FAX 088-823-8059

Eメール shakyo@kochi-csw.or.jp

HP <http://www.kochi-csw.or.jp/>

f Facebook「ほおっちょけん」もぜひご覧ください！

🔍 ほおっちょけん

検索